



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社

コード番号 4531 URL <http://www.yuki-gosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統括

(氏名) 山戸 康彦

TEL 03-3664-3980

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,615	9.7	116	274.3	133	—	210	△24.9
26年3月期第3四半期	6,942	17.9	31	—	△2	—	280	△51.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	9.64	—
26年3月期第3四半期	12.83	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	17,375	10,081	58.0
26年3月期	17,641	9,994	56.7

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 10,081百万円 26年3月期 9,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,900	5.1	300	29.9	250	△13.8	270	404.6	12.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	21,974,000 株	26年3月期	21,974,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	141,573 株	26年3月期	137,248 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	21,834,935 株	26年3月期3Q	21,838,780 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策の効果により企業業績は改善傾向がみられる一方、消費税率引き上げや夏場の天候不順等による個人消費の弱含みなど、国内景気を下押しする要因もみられ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

化学工業におきましても、円安の進展による輸入原材料価格の上昇など、企業収益の持続的な回復に向けては引き続き予断を許さない状況であると思われまます。

このような状況下、当社は当期で2年目を迎えた3カ年の中期経営計画の達成に向けて、アミノ酸・化成品関係の医薬中間体・原料を始め、医薬品関係（ジェネリックを含む原薬）を成長ドライバーとし、早期に成長軌道に乗せるべく、具体的な各種施策への取り組みに注力しております。当第3四半期累計期間の業績状況といたしましては、販売価格の値上げ及び新規の拡販実施に円安効果も加わり、売上高は前年同四半期比9.7%増の7,615百万円と大幅に増加しました。製造コスト上昇等の影響を受けたものの、売上高の増加に伴い、営業利益は前年同四半期比274.3%増の116百万円、経常利益は133百万円（前年同四半期は2百万円の経常損失）、四半期純利益は前年同四半期比24.9%減の210百万円となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

製品区分	平成26年3月期第3四半期累計期間				平成27年3月期第3四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	1,015	2,273	3,289	47.4	970	2,368	3,339	43.9
化成品関係	1,717	564	2,281	32.8	2,055	596	2,652	34.8
医薬品関係	1,095	275	1,371	19.8	1,224	398	1,623	21.3
合計	3,828	3,114	6,942	100.0	4,251	3,364	7,615	100.0
構成比(%)	55.1	44.9	100.0		55.8	44.2	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【アミノ酸関係】

ビタミン原料の輸出は減少したものの、アミノ酸の販売が堅調に推移したことにより、前年同四半期に比べ増加いたしました。

【化成品関係】

船底塗料用原料の販売が伸びたことに加え、ピリジン誘導体や農薬原料の国内販売が好調に推移した結果、前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

【医薬品関係】

既存品の一部で販売が落ち込んだものの、ジェネリックならびに新薬の国内販売を中心に、売上が順調に拡大したことにより、前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

当第3四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から146百万円減少し、8,538百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加と、製品、原材料の減少によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から119百万円減少し、8,836百万円となりました。これは主に、機械及び装置、投資有価証券の評価差益の減少によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から305百万円減少し、3,457百万円となりました。これは主に、短期借入金、未払法人税等の減少によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から48百万円減少し、3,836百万円となりました。これは主に、退職給付引当金の増加と、社債、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末から87百万円増加し、10,081百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加と、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、原油価格の急落や不安定さを増す欧州経済動向など懸念材料があるものの、輸出増加等による企業業績が堅調に推移し、雇用情勢等の改善により個人消費も徐々に持ち直せば、緩やかな景気回復基調を維持していくものと思われまます。

このような情勢の中、当社は前期からスタートさせた3ヵ年の中期経営計画に沿った諸施策へ、全社一丸となって取り組むことで、更なる収益力の向上に向けて邁進してまいります。

現時点における当社の平成27年3月期通期の業績予想につきましては、平成26年10月31日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しております。割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

その結果、当第3四半期累計期間の期首の退職給付引当金が36,037千円増加し、利益剰余金が23,287千円減少しております。

また、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,646,943	2,008,141
受取手形及び売掛金	2,761,501	2,982,744
製品	2,523,221	2,161,518
仕掛品	555,895	470,060
原材料	856,555	721,811
その他	341,385	194,954
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	8,685,203	8,538,929
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,379,734	1,379,394
機械及び装置（純額）	1,149,901	1,109,787
土地	3,181,828	3,181,828
その他（純額）	897,622	899,446
有形固定資産合計	6,609,087	6,570,457
無形固定資産	92,355	90,488
投資その他の資産		
投資有価証券	1,958,918	1,903,485
その他	296,299	272,550
投資その他の資産合計	2,255,217	2,176,035
固定資産合計	8,956,660	8,836,981
資産合計	17,641,863	17,375,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,482,268	1,576,199
短期借入金	800,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	336,000	341,600
未払法人税等	194,351	17,472
賞与引当金	160,350	73,761
固定資産解体引当金	60,600	—
その他	729,563	748,647
流動負債合計	3,763,133	3,457,680
固定負債		
社債	89,500	40,000
長期借入金	1,966,000	1,933,400
再評価に係る繰延税金負債	697,655	697,655
退職給付引当金	759,507	814,287
資産除去債務	14,109	14,224
その他	357,698	336,678
固定負債合計	3,884,470	3,836,246
負債合計	7,647,604	7,293,926

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471,000	3,471,000
資本剰余金	3,250,140	3,250,140
利益剰余金	2,728,834	2,850,473
自己株式	△44,512	△45,637
株主資本合計	9,405,462	9,525,976
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	602,515	568,520
繰延ヘッジ損益	△2,435	△1,228
土地再評価差額金	△11,283	△11,283
評価・換算差額等合計	588,796	556,008
純資産合計	9,994,259	10,081,985
負債純資産合計	17,641,863	17,375,911

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,942,544	7,615,261
売上原価	5,574,390	6,212,605
売上総利益	1,368,154	1,402,655
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	307,054	317,677
賞与引当金繰入額	16,026	19,194
退職給付費用	25,077	29,590
研究開発費	346,086	266,618
その他	642,717	652,814
販売費及び一般管理費合計	1,336,961	1,285,894
営業利益	31,192	116,761
営業外収益		
受取利息	662	633
受取配当金	31,881	35,064
為替差益	—	18,328
受取技術料	16,053	—
雑収入	24,425	26,028
営業外収益合計	73,021	80,054
営業外費用		
支払利息	36,583	42,415
社債利息	3,038	1,722
アレンジメントフィー	39,000	14,000
休止固定資産減価償却費	24,158	—
雑損失	4,151	5,510
営業外費用合計	106,931	63,648
経常利益又は経常損失(△)	△2,717	133,168
特別利益		
受取補償金	475,919	187,712
投資有価証券売却益	—	19,230
特別利益合計	475,919	206,943
特別損失		
固定資産除却損	44,410	22,360
特別損失合計	44,410	22,360
税引前四半期純利益	428,791	317,750
法人税等	148,643	107,314
四半期純利益	280,147	210,436

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はファインケミカル事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。